

下水道を守り、健康も守る透析へ

～マンパワーを最大限活用したプロジェクト管理と
課題解決の推進力となる新たなパートナーとの連携～

取組の概要

医療モールドビルで
原因不明の
下水道管損傷が発覚



原因は透析機器の
洗浄時酸性排水



他の透析医療機関
でも同じ損傷が...



すぐ対応しないと！
が、“人・モノ・カネ”、どうしよう…
医療の知識もないし…
では、工夫しよう！

都下水道局だけでなく
パートナーと連携

ともに取り組み
排水対策



取組開始から7年で
未対応の透析医療機関数
がゼロに



早期解決への工夫

段階的プロジェクト管理

- ステップ1 実態把握
- ステップ2 新たなパートナーとの連携
- ステップ3 各主体の強みを活かした取組の開始

限られたマンパワーで
早期解決

新たなパートナーとの連携(官民連携)

都
下
水
道
局

国 (国土交通省・厚生労働省)

業界団体

薬剤・中和装置メーカー

発信力

取組体制
パワーアップ

開発力

各主体の取組例

東京都下水道局

職員による
排水指導



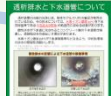
・現地指導

分かりやすい
啓発

デジタル機器に
よる調査



・可搬型pH計やテレビカメラ



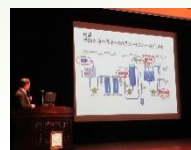
・新たなリーフレット

自主管理体制の構築



・透析排水管理WG結成
・“基準達成のための手順書”策定

透析医療機関への
情報提供



・定期的な啓発

国

全国への
注意喚起

・事務連絡発出
(国土交通省、厚生労働省)

メーカー

技術開発

・下水排除基準適合薬剤開発
・省スペース中和装置開発

PRポイント・取組の効果

- 東京23区内全透析医療機関の酸性排水対策が、想定より短い期間で完了
⇒ 下水道管損傷の未然防止や道路陥没による人身事故の回避
- 全国への警鐘を国に働きかけ⇒ 全国下水道における透析排水対策が実現
- 業界団体自らの専門性を活用して、排水対策を誘引
⇒ 業界団体による自主的な再発防止策の実施や定期的な啓発といった好循環が発生
⇒ 薬剤・装置メーカーの技術開発により、下水排除基準に適合する薬剤など全国下水道事業者の安定運営に貢献

下水道を損傷することなく、安定的に透析医療を提供できる環境が整備